

農業分野での脱炭素化の取り組み 4パーミル・イニシアチブ



背景

- 世界で地球温暖化の進行が問題となる中、土壌中の炭素貯留により大気中の二酸化炭素濃度を低減し、地球温暖化を抑制する国際的取り組み「4パーミル・イニシアチブ」が注目されている。
- 「4パーミル・イニシアチブ」は、2015年にパリで行われたCOP21にてフランス政府主導で始まった取り組みで、2021年9月現在、623の国や国際機関、NPOなどが参加している。
- 山梨県は、ブドウ、モモ、スモモの生産量日本一の果樹王国としての特徴を活かし、農業分野から脱炭素化を目指すため2020年4月に日本の自治体としては初めて「4パーミル・イニシアチブ」の取り組みを始め、国際的な取り組みとしての参画が認められた。

現状の課題

- 「4パーミル・イニシアチブ」という言葉自体が農家、流通業者、消費者等に分かりにくい。
- 取り組みによる脱炭素化の効果検証や効果的な手法の研究と実証が必要。
- 取り組む農家数を増やしていく必要があるが、枝の炭化に必要な機器の導入が農家の負担となっている。
- 脱炭素化実現に向けては、農家による取り組みの拡大だけでなく、消費者による脱炭素化に貢献する果物の消費拡大を推進し、生産者と消費者が一体となった新たな消費のかたちを形成することが必要。

事業の目的

山梨県版「4パーミル・イニシアチブ」の取り組みに、農家と消費者に参加してもらうことで、農業分野からの脱炭素社会の実現を目指す。

これまでの取組

- 4パーミル・イニシアチブが地球温暖化の抑制に寄与することについてのエビデンスの提示のため、試験研究を実施
- 農家の取り組みを推進するための研修会や普及活動の実施、並びに必要な機器（無煙炭化器）導入支援
- 4パーミル・イニシアチブに取り組む農家や農産物等を認証する制度の創設
- 制度を分かりやすく伝えるためのアニメーション動画の制作
- 認証を受けた農産物のブランド化に向けたマーケティング調査

事業内容

- 4パーミル・イニシアチブ農産物をターゲット層（エシカル消費層）に認知してもらうための店頭プロモーションの実施
- 4パーミル・イニシアチブの認知度向上のため、メディアを活用したPRを実施
- 農家の取り組み拡大に向けた普及活動、機器等の購入支援
- 効果的な炭化方法の試験研究及び現地実証



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS





得られる
成果等

- 4パーミル・イニシアチブが地球温暖化の抑制に寄与することのエビデンス
- 4パーミル・イニシアチブに取り組む農家等数の増加
- 山梨県版「4パーミル・イニシアチブ」の認知度向上
- 消費者等の参加を促す社会活動としての定着

農業分野から

▶ 脱炭素社会の実現へ

寄附を
する
メリット
等

企業さまに求めるもの等

農業分野から脱炭素社会の実現のため、

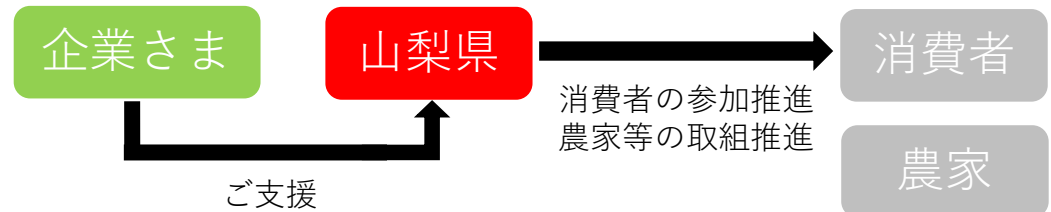
- エシカル消費者をメインターゲットとした
4パーミル・イニシアチブ農産物の認知度向上のための
リアルとデジタルを組み合わせたプロモーション
- 農家の取り組み拡大に向けた無煙炭化器導入支援
について、ご支援いただきたいです。

想定される企業さまのメリット

- 日本国、世界中の課題である地球温暖化対策に参画
- SDGs に貢献する取り組みに参画

▶ 企業イメージのアップ

企業さまとの連携イメージ



連絡先等

山梨県農政部販売・輸出支援課
ブランド化推進担当

所在 〒400-8501

山梨県甲府市丸の内1-6-1 6階

電話 055-223-1602

メール nou-han@pref.yamanashi.lg.jp



販売・輸出支援課
ホームページ



YouTube